

## [100] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10166>

---

出版情報：語文研究. 100/101, 2006-06-02. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：



迫野虔徳教授 近影

## 迫野虔徳教授略歴

- 昭和十七年五月 大分県に生まる
- 昭和四十年三月 九州大学文学部国語学・国文学科卒業
- 昭和四十二年三月 九州大学大学院文学研究科修士課程（国語学）修了
- 昭和四十五年三月 九州大学大学院文学研究科博士課程（国語学）単位取得満期退学
- 昭和四十五年四月 北九州大学文学部講師
- 昭和四十八年四月 熊本大学文学部助教授
- 昭和五十五年四月 九州大学文学部助教授
- 昭和五十九年三月 韓国外国語大学校大学院国際交流基金日本語教育派遣専門家（同年十二月まで）
- 平成 元年十二月 九州大学文学部教授
- 平成 五年八月 中華人民共和国北京外国語学校大学院国際交流基金日本語教育派遣専門家（同年十二月まで）
- 平成 十年五月 訓点語学会委員
- 平成 十年十一月 新村出賞（文献方言史研究の功績について）
- 平成十一年一月 学術審議会専門委員（科学研究費分科会）（平成十二年一月まで）
- 平成十二年四月 九州大学大学院人文科学研究院教授
- 平成十二年五月 日本語学会評議員
- 平成十四年四月 二十一世紀COEプログラム人文科学分野（九州大学）「東アジアと日本…交流と変容」事業推進担当者（平成十六年十二月まで）
- 平成十五年五月 日本語学会理事
- 平成十七年一月 独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（同年十二月まで）
- 平成十八年三月 定年退職
- 平成十八年四月 筑紫女学園大学教授
- 平成十八年五月 九州大学名誉教授の称号を授与せらる

# 迫野虔徳教授著作目録

## 著 書

- 春日和男編『新編国語史概説』「仮名資料」(共著) 有精堂 昭和五十三年二月
- 『講座日本語の語彙』第8巻 方言の語彙「方言語彙史」(共著) 明治書院 昭和五十七年四月
- 『九州大学公開講座18 人と教育』「藤原定家のかなづかい」(共著) 九州大学出版会 昭和六十二年八月
- 『日本語百科大辞典』「音韻変化」 「日本語の音韻の史的変遷」(共著) 大修館書店 昭和六十三年五月
- 奥村三雄編『九州方言の史的研究』第三章「文献方言史総論(1) 方言史の構想・(2) 交隣須知を例として」(共著) 桜楓社 平成 元年二月
- 『今昔物語抄』(単著) 和泉書院 平成 四年六月
- 『文献方言史研究』(単著) 清文堂 平成 十年二月
- 『江戸時代の方言研究』(単著) 科学研究費報告書 平成 十年三月
- 『地方古文書・古記録からする日本語史研究の再評価』(単著) 科学研究費報告書 平成 十三年三月
- 『筑紫語学論叢』 「古文書・古記録の促音表記」(編著) 風間書房 平成 十三年四月
- 日本語研究会編『日本語史研究の課題』 「対馬方言書『日暮芥草』について」(共著) 武蔵野書院 平成 十三年十月
- Interaction and Transformations Vol.1 (Changes in Writing the Long Sounds of the Group O (O Variants Pronounced with the Mouth protruded) and Those of the Group U) (共著) KYUSHU UNIVERSITY 平成 十五年十二月
- 『朝倉日本語講座2 文字書記』 「第7章 仮名遣いの発生と展開」(共著) 朝倉書店 平成 十七年四月
- 『文献方言史研究資料の発掘と調査研究』(単著) 科学研究費報告書 平成 十七年五月

# 論文

古文書にみた中世末期越後地方の音韻

仮名文における拗音仮名表記の成立

定家の仮名遣の成立について

方言史料としての古文書・古記録

日本靈異記下巻序の本文と訓釈

力行イ音便の形態的定着

東国文献と言語指標―『天正狂言本』における「借りる」をめぐる―

「天正狂言本」追考

『京大図書館蔵元龜二年本運歩色葉集』について

定家の「仮名もじ遣」

才・ウ段拗長音表記の動揺

仮名遣の問題

藤原定家の仮名遣

熊本県の親族語彙

「防人歌」の筆録―その言語資料としての性格―

『梅津政景日記』―江戸時代初期東国語文獻―

九州大学萩野文庫蔵『今昔物語抄』について

定家以後の仮名遣

語文研究22号

語文研究26号

語文研究27号

『平山輝男博士還暦記念 方言研究の問題点』 明治書院

訓点語と訓点資料43輯

語文研究31・32合併号

北九州大学文学部紀要7

『北九州大学開学25周年記念論文集』

国語国文42巻7号

語文研究37号

国語国文44巻4号

語文研究39・40合併号

『春日和男教授退官記念 語文論叢』 桜楓社

『川辺川流域総合予備調査報告』

語文研究50号

文学研究79

国語国文51巻4号

『今井源衛教授退官記念文学論叢』九州大学文学部

昭和四十一年十月

昭和四十三年十月

昭和四十四年六月

昭和四十五年八月

昭和四十六年三月

昭和四十六年十月

昭和四十六年十二月

昭和四十七年十二月

昭和四十八年七月

昭和四十九年八月

昭和五十年四月

昭和五十年六月

昭和五十三年十一月

昭和五十四年三月

昭和五十五年十二月

昭和五十七年三月

昭和五十七年四月

昭和五十七年六月

- 方言の歴史はどこまでわかるか  
東国系抄物語語彙覚書  
地方語文献による方言語史  
促音・撥音の表記の動揺―「天正狂言本」の場合―  
中世的撥音  
「たり」の展開  
撥音の後のパ行音―p音の発生と展開  
「ウス」について  
「中濁」考  
『新スラブ日本語辞典』の「オ」の表記  
「コウス」(毀)の成立  
『名語記』のかなづかい  
上代東国方言の特殊仮名遣い  
『日本語俗言解』について  
日本語の東西方言差と「テイル」  
東国方言と才段の開合  
「たそかれ」考  
北野天満宮目代盛増の日記  
北野目代日記の「ん」「ッ」の仮名  
九州方言の動詞の活用  
たそがれ
- 国文学解釈と教材の研究27巻16号  
文学研究80  
国文学解釈と観賞臨時増刊  
文学研究84  
国語国文56巻7号  
文学研究85  
『奥村三雄教授退官記念国語学論叢』桜楓社  
文学研究87  
文学研究88  
『辞書・外国資料による日本語研究』和泉書院  
訓点語と訓点資料88  
『鶴久教授退官記念国語学論集』桜楓社  
『国語論究第4集 現代語・方言の研究』明治書院  
筑紫語学研究第6号  
『言語学林』1995、1996、三省堂刊  
福岡大学日本語日本文学第6号  
筑紫語学研究第7号  
いずみ三通信2 和泉書院  
国語国文学研究第32号  
語文研究85号  
学士会会報829号
- 昭和五十七年十二月  
昭和五十八年二月  
昭和五十九年五月  
昭和六十二年二月  
昭和六十二年七月  
昭和六十三年二月  
平成元年六月  
平成二年三月  
平成三年三月  
平成三年八月  
平成四年三月  
平成五年五月  
平成六年二月  
平成七年十二月  
平成八年四月  
平成八年十一月  
平成八年十二月  
平成九年一月  
平成九年二月  
平成十年六月  
平成十二年十月

対馬歴史民俗資料館蔵本『交隣須知』について

佐伯弘次代表『宗家文庫資料の総合的研究』

平成10～12年度科学研究費基盤(B)(2)報告書

平成十三年三月

指示詞におけるコンアド体系の整備

語文研究94号

平成十四年十二月

対馬歴史民俗資料館蔵『日暮芥草』について

佐伯弘次代表『宗家文庫資料の形成過程と保存に関する基礎的研究』

平成十三・十四年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト

研究成果報告書

平成十五年三月

『おもろさなごし』の三行四段動詞「おわる」の成立

語文研究99号

平成十七年六月

その他、辞書・辞典類の項目執筆多数